

Duo Tone/FX II

Pick Up System 取扱説明書

この度は James アコースティックギターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みいただいた上、大切に保管してください。

島村楽器株式会社

〒132-0035 東京都江戸川区平井 6-37-3
www.shimamura.co.jp

本製品について

James アコースティックギターに搭載された Duo Tone/FX II ピックアップシステムは、ブリッジ内部に設置したピエゾセンサーと、ボディ内部に設置したマイクピックアップによる2つのサウンドをミックスして使うことで、アンプやPAシステムからより自然なアコースティックギターのサウンドを生み出すことができるアコースティックギター用のピックアップシステムです。

搭載されたリバーブ / コーラスのエフェクト機能は、ボディ内に設置されたアコースティック・エフェクトユニットにより、アンプや PA システムにつないだ時だけでなく、生で弾いた時にもその効果を楽しんでいただくことができます。

いつでも気軽に本格的なアコースティックギターのサウンドをお楽しみいただくことができる製品です。

アンプなどにつながらない場合の使い方

■アンプなどにつながらない際にも通常のギターとしてご使用いただけます。

■【⑤コーラスノブ / 電源スイッチ】を約1.5秒間長押しすると【②電源インジケータ】が緑色に点灯し、エフェクト機能と内蔵振動スピーカーが使用できるようになります。

■【②リバーブ ノブ】を上げていくと、リバーブのかかり具合を調整できます。
【⑤コーラスノブ / 電源スイッチ】を上げていくと、コーラスのかかり具合を調整できます。
【④マスターボリューム】を左から右に回していくと、全体の音量が大きくなります。

■もう一度【⑤コーラスノブ / 電源スイッチ】を押すと電源が切れ【②電源インジケータ】が消灯し、エフェクトがかからなくなります。

【ご注意】

- ・【⑤コーラスノブ / 電源スイッチ】を押し続けるとハウリングが起きることがあります。
- ・セッティングなどによりハウリングが起きる場合があります。
その場合は弦に触れてミュートするか、【④マスターボリューム】を絞り調整してください。

アンプ / ヘッドホン / イヤホンにつなぐ場合の使い方

■【④マスターボリューム】とアンプのボリュームを絞ります。

■アンプに接続する場合、【⑥6.35mmアウトプットジャック】とアンプをシールドで接続します。
その後、アンプのボリュームを上げ、【④マスターボリューム】を少しずつ上げ、適正な音量にします。

■ヘッドホン / イヤホンに接続する場合、【③3.5mmヘッドホンジャック】にケーブルを接続します。
その後、【④マスターボリューム】を少しずつ上げ、適正な音量にします。

■【③マイクレベル】を上げていくと、内蔵マイクの出力のミックス具合を調整できます。

■【①リバーブノブ】を上げていくと、リバーブのかかり具合を調整できます。

■【⑤コーラスノブ / 電源スイッチ】を上げていくと、コーラスのかかり具合を調整できます。

■ヘッドホン / イヤホンを繋いだ状態でも、アンプアウトジャックから出力されます。

【ご注意】

・【⑥6.35mmアウトプットジャック】、【③3.5mmヘッドホンジャック】のいずれかにケーブル類が接続されている場合、【⑤コーラスノブ / 電源スイッチ】を押しても電源は切れません。

・セッティングによってはハウリング／フィードバックが発生する場合があります。
その際にはアンプから離れるか、【③マイクレベル】、【④マスターボリューム】を下げて調整してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

この注意事項を無視した取扱をすると、重大な事故を引き起こす可能性が予測されます。

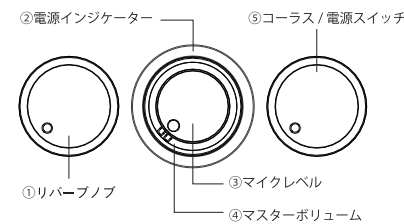
- 次のような場合は直ちに電源を切ってください。
 - ・異物が内部に入ったとき
 - ・製品に異常や故障が生じたとき
- 修理が必要な時は、お買い上げの販売、最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理 / 部品交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、針金など）入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する器具の上など）での使用や保管をしない。
- 振動の多い場所での使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所での使用や保管はしない。
- 雨天時の野外など湿気の多い場所での使用や保管はしない。
- 本製品の近くに液体の入った物（水や薬品など）を置かない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。

⚠ 注意

- ヘッドホン、イヤホンを抜き差しする際は耳から外した状態で抜き差しを行ってください。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離してご利用ください。ラジオやテレビなどに接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。
- 外装のお手入れは乾いた布を使って軽く拭いてください。
- スイッチやツマミに必要以上の力を加えないでください。故障の原因になります。
- 外装のお手入れにベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド強燃性のポリッシャーは使用しないでください。
- 本製品の充電にはUSB Type-C (5V)の充電器(別売)をご使用ください。また、充電完了後には充電器を外してください。

各部の名称と働き

コントロール部分



①リバーブノブ
リバーブのかかり具合を調整します。
ノブを時計回りに回すと、リバーブのかかり具合が増します。

②電源インジケータ
電源がオンでバッテリー電力が十分な場合、緑色に点灯します。
バッテリーが少なく充電が必要な場合は黄色に点灯します。
バッテリーが完全に切れて正常に機能しない場合は赤色に点灯します。

③マイクレベル
【⑥6.35mmアウトプットジャック】、もしくは【③3.5mmヘッドホンジャック】を使用中のみ動作します。
ノブを時計回りに回すと、内蔵マイクの出力が高くなります。
反時計回りに回すとマイクのピックアップの出力が下がり、最終的にオフになります。

④マスターボリューム
全体のボリュームを調整します。

⑤コーラスノブ / 電源スイッチ
コーラスのかかり具合を調整します。
ノブを時計回りに回すと、コーラスのかかり具合が増します。
さらに、PUシステムの電源スイッチの役割もあります。
ノブを約1.5秒間長押しすると電源がオンになり、【②電源インジケータ】が点灯します。
再度ノブを押すと電源がオフになり、【②電源インジケータ】が消えます。

⑥USBポート
USB Type-C (5V)の充電器(別売・スマートフォン用のものなどをご使用いただけます)をつなぐことで、内蔵バッテリーの充電をします。

⑦充電インジケータ
USBポートにUSBケーブルを接続し充電を開始すると、インジケータライトがオレンジ色に点灯します。
完全に充電されると緑色に変わります。

⑧6.35mmアウトプットジャック
アンプやライン出力用のアウトプットジャックです。
シールドを接続することでPUシステムの電源が自動的に入ります。
接続されたシールドを抜くと電源が切れます。

⑨3.5mmヘッドホンジャック
ヘッドホン / イヤホン用のアウトプットジャックです。
ヘッドホン / イヤホンを接続することでPUシステムの電源が自動的に入ります。
接続されたヘッドホン / イヤホンを抜くと電源が切れます。

⑩内蔵バッテリー
内蔵バッテリー用のホルダーです。

自動電源 OFF 機能

■【⑥6.35mmアウトプットジャック】、【③3.5mmヘッドホンジャック】にケーブル類が接続されていない状態でDuo Tone/FX IIピックアップシステムを使用している場合、約10分間楽器の使用がない場合自動的に電源がOFFになります。

■【⑥6.35mmアウトプットジャック】、【③3.5mmヘッドホンジャック】のいずれかにケーブル類が接続されている場合は自動電源OFF機能は動作しません。
この場合、電池が消費され続けますので使用にならない場合はケーブル類を抜いてください。